

顧問 中田 章道 七段

発行責任者 山中 利夫

1 平成29年・新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

一昨年2月の支部連合会総会で推挙され会長を引き受けて早や二年が過ぎました。「光陰矢の如し」を実感しています。34支部及び約160名の将棋指導員の皆様のご協力により課題を全て成功裡に終えることが出来ました。この紙面を借りて関係者の皆様方に深くお礼申し上げます。

昨年12月2日私たちの仲間でもあり、東海普及連合会事務局の鈴木栄児さん（東海団体リーグ責任者、愛知県支部連合会幹事、棋道指導員）を失い、差し迫った課題の準備に追われる師走になりました。

小学生名人戦では、平成28年度も引き続き(株)さなるの協賛のもと、地区大会（12月11日）を3会場から5会場（一宮・名古屋・刈谷・岡崎・豊橋）へ拡大して開催しました。参加人数も全体で268名と前回より69人増加（約35%増）しました。各地区でご協力頂いた関係支部及び将棋指導員の皆様に厚くお礼申し上げます。

昨年の教訓は、地区大会を増やしてきめ細かく開催すれば、当然のこととして参加者の確実な増加につながることで、とりわけ小学生の大会はご父兄も会場に来場されますので、伝統文化である将棋に対する理解と将棋普及の素地を拓けるうえで大きな役割を果たしていると言えます。

また、藤井聡太史上最年少四段の誕生の効果もあり、各種カルチャーセンターから将棋講座開設に伴う将棋講師の派遣要請が次々と来ていると聞いています。

現在、愛知県支部連合会には全国の約900名の将棋指導員の約6分の1の指導者が活躍していますが、「県内どこに住んでいても子どもたちが将棋を学べる環境の整備」という目標からみますと残念ながらまだまだ足りていません。2月12日には名古屋で将棋指導者講習会も開催されます。まだ将棋指導員の資格を取得されていないあなたも取得されてはいかがですか？詳細は東海普及連合会または愛知県支部連合会（会報最終ページの連絡先）まで問合せください。

最後に、引き続き愛知県支部連合会の取組にご理解とご協力を頂くことをお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成29年元旦

日本将棋連盟愛知県支部連合会会長 山中利夫

2 「藤井聡太新四段を祝う会」に300名が参加

平成28年9月3日「神武以来の天才」と呼ばれた加藤一二三九段の記録（14歳7カ月）を62年ぶりに更新して、14歳2カ月という驚異的な速さで史上最年少プロ棋士となった藤井聡太四段の祝賀会が、12月18日（日）、名古屋栄の名古屋国際ホテルで開催されました。

約300名のファンの参加は予想通りでしたが、主催者側を驚かせたのは報道関係の大変な多さでした。当日は午後2時からファンサービスとして杉本七段の一門による指導対局が約3時間行われました。同時に自由に対局できる約30面もいっばいで指導対局場の窓を開けないといけないほどの熱気でした。

この熱心なファンより早く続々と会場入りをしたのがテレビカメラを抱えた報道関係者の皆さんでした。藤井四段が午後2時頃控室に入室するやいなや取材の連続でした。

午後5時30分から開始された「祝う会」は発起人を代表して中日新聞社河津市三常務取締役が参加者の皆さんへのお礼と藤井四段への期待を述べられました。来賓の挨拶は藤井四段の生まれ育った瀬戸市の伊藤保徳市長、公益社団法人日本将棋連盟を代表して青野照市専務理事のお二方からいただきました。その後、藤井四段への花束贈呈、藤井四段のお礼の挨拶があり、「東海地区に一刻も早くタイトルを持ってこられるよう精進したい」と決意を述べました。



日本将棋連盟の東和男常務理事の発声で乾杯に移り、参加者は口々に藤井聡太四段への期待を語り合っていました。このような祝賀会に初めて参加したというファンは、「本当に楽しい。出席して本当に良かった」と喜んでいました。

その後、昇段の一局である奨励会リーグ最終戦の藤井三段（当時）VS西山朋佳三段戦を藤井四段が自戦解説し、聞き手は姉弟子の室田伊緒女流二段が務めました。

また今回は特別出演で神谷茂良師匠・岡野兄弟による津軽三味線の演奏が会場に響き渡り、将棋ファンから大きな拍手が鳴りやみませんでした。

最後に杉本昌隆七段から藤井四段以下7人の弟子の紹介があり、東海普及連合会副会長も務める杉本七段は「引き続き将棋の普及を進めていくので、参加者の皆さんの協力をお願いします。藤井四段は将棋の対局に専念して頑張ってもらいたい。」とお礼の挨拶をされました。

愛知県における将棋の組織的な普及の大きな到達点を感じさせる今回の「藤井聡太新四段を祝う会」、また昨年名城大学による学生将棋団体・個人同時優勝のような特徴的なことは、県下の支部及び将棋指導員の皆さんのたゆまぬ普及の努力があってこそ思っております。引き続き「県内のどこに住んでいても子どもたちが将棋を学べる環境の整備」を目指して頑張りましょう。

3 さなる杯第42回小学生将棋名人戦愛知県地区大会を県内5地区で開催

12月11日(日)、さなる杯第42回小学生将棋名人戦愛知県地区大会を開催しました。昨年からは(株)さなるが協賛されることになり、愛知県、同教育委員会、名古屋市、同教育委員会、中日新聞社の後援を得て、さなる杯として開催しています。ただし、以前のような県大会のみの開催ではなく、愛知県及び静岡県は地区大会を12月に開催し翌1月に県大会を開催する方式に変わりました。昨年愛知県では刈谷、名古屋、一宮の3地区の大会を開催した後県大会を開催しましたが、本年は(株)さなるの要望を受けて豊橋、岡崎、刈谷、名古屋、一宮の5地区での開催に拡大して実施しました。

大会会場となったさなる各校を新規開催校だけでなく全ての会場の下見及び打ち合わせを行い準備しました。

日本将棋連盟から各会場にはプロ棋士が2名ずつ派遣され、参加者への指導対局、父兄へのミニ講演などを行っていただきました。

大会参加者も昨年の199名を大きく上回る268名で、69名、約35%増加となりました。

各地区大会別の参加者は、豊橋54名、岡崎41名、刈谷62名、名古屋70名、一宮41名で、全県的な広がりを感じずる結果となりました。

この参加者数は11月27日(日)に開催された第1回名城大学杯将棋大会の小学生参加者数3クラス220名を大きく超えるものです。近年地区大会から県大会というアマチュア棋戦の少ない中で、地区ごとにきめ細かく大会を開催すれば、確実に参加者数の増大につながることを物語っています。

また、この参加者数は県内34支部、約160名の将棋指導員の日常的な将棋普及の成果でもあり、将棋関係者である私どもを大きく激励する結果と言えます。

なお、各地区大会の上位入賞者は以下のとおりです。

		優勝	準優勝	第三位
名古屋	名人戦 22名	野村 權 (名古屋市守山区・3年)	古野 知典 (瀬戸市・3年)	大林 賢生 (長久手市・5年) 安藤 良 (小牧市・4年)
	高学年 24名	住吉 治志 (多治見市・4年)	加藤 慎士 (岐阜県可児郡・6年)	西 湧盛 (名古屋市港区・6年)
	低学年 25名	近藤 俊介 (長久手市・3年)	大津 煌明 (名古屋市守山区・2年)	華房 慶大 (名古屋市西区・1年)
刈谷	名人戦 18名	平野 陽太 (名古屋市緑区・4年)	安藤 一慶 (刈谷市・5年)	桑代 宗典 (名古屋市名東区・3年)
	高学年 28名	市川 和樹 (安城市・6年)	目次 遥真 (豊田市・4年)	田中 弘毅 (半田市・6年)
	低学年 16名	八谷 凌 (半田市・3年)	豊田 悠奈 (名古屋市中川区・3年)	安永 悠太 (みよし市・2年)
豊橋	名人戦 17名	杉浦 悠斗 (安城市・5年)	山本 悠太 (名古屋市名東区・4年)	伊覇 逞 (名古屋市北区・3年)
	高学年 17名	太田 祥亘 (豊橋市・6年)	白木 達也 (豊橋市・6年)	大竹 璃空 (豊橋市・4年)
	低学年 20名	小山 琥太郎 (豊橋市・3年)	白柳 康介 (蒲郡市・2年)	山内 竜之介 (豊橋市・2年)
一宮	名人戦 14名	三浦 光葵 (小牧市・5年)	緒方 惟月 (弥富市・5年)	宮治 佑賢 (あま市・4年)
	高学年 17名	岩佐 美帆子 (岐阜市・5年)	岩田 悠佑 (各務原市・4年)	荒木 開 (一宮市・6年)
	低学年 10名	神野 来樹 (関市・1年)	大西 徳美 (岐阜県揖斐郡・3年)	安本 興生 (弥富市・保育園年長)
岡崎	名人戦 14名	長澤 魁 (瀬戸市・3年)	下田 寿桃 (岡崎市・5年)	竹内 僚 (岡崎市・3年)
	高学年 10名	永屋 和輝 (中津川市・6年)	原井 亮弥 (岡崎市・6年)	石川 智之 (岡崎市・6年)
	低学年 17名	柴田 侑駕 (岡崎市・2年)	坂井 聡哉 (岡崎市・3年)	屋田 凜太郎 (安城市・2年)

名人戦の各会場の第三位までと参加者最多の名古屋会場の第四位の16名が1月22日(日)にさなる刈谷本部校で開催の愛知県大会に出場。

愛知県大会の優勝者は3月18日(土)～19日(日)にさなる東京総本社で開催の東日本大会に出場。

4 南陽交流プラザ 澤田六段を招き2016冬休み将棋教室開催

日時：2016年12月24日(土)、25日(日) 場所：名古屋市港区東茶屋南陽交流プラザ

名古屋市港区の西部に位置する南陽交流プラザ (<http://cc-nanyou.com>) はいまやこの地区の地域振興・文化活動にとって欠かせないコミュニティ施設となってきています。施設では卓球・ヨガ・バレーボール・ダンスなどのスポーツに加え各種文化活動が盛んに行われ、中にはおもちゃ修理もあり季節によっては地域野菜の即売やなども行われています。



その中でも毎月第一・三日曜日の10時～12時に開催しているこの将棋教室はいつも盛況で、同時開催している囲碁を合わせた参加者も多く就学前の園児・小学生から大人、男女を問わず毎回20名～40名が集まって活動しています。今年も盛況のうちに12月18日で予定していた今年の定例将棋教室を終了しました。あとは今年最終イベント冬休み教室です。以下は12月24日・25日に開催された冬休み将棋教室の様をお伝えします。

2日間のうち初日は翌日の指導対局に備え駒落ち定跡の予習とし、大盤解説しながら駒落ちの定跡と変化について解説しました。何事も予習が肝心？

さて、いよいよ2日目の指導対局本番の日を迎えることになりましたが前日の「予習」の成果はどこへ？緊張のせいかな定跡から外れて「力戦」の人、予習していた「垂れ歩」が指せなかった人、どの顔も火照って真っ赤になりながらも熱戦が繰り広げられました。また直前になって手合いを4枚に変更する小学生もいて皆の注目に。力及ばず惜敗しましたが澤田六段の感想戦指導コメントに熱心に聞き入っていました。



この冬休み教室はクリスマスイベントと重なる上にさらに今年は小牧陣中将棋大会への参加者もあり計画人数が昨年より減少したことが残念ではありましたが子供たちの貴重な「財産」になったことでしょう。

今後も地元の活性化と共に将棋の楽しさを伝えられるよう企画を積み重ね活動を続けていきたいと思っています。関係者一同お待ちしております。定期開催予定は以下のURLをご覧ください。

<http://www.cc-nanyou.com/kouza.html>

将棋指導員 坂野和重

5 東海普及連合会事務局の鈴木栄児さんが12月2日に急逝

東海普及連合会事務局、東海団体リーグ戦責任者、愛知県支部連合会幹事、名古屋市役所支部支部長を兼ねて将棋の普及に尽力されていた棋道指導員の鈴木栄児さんが急な病のため12月2日に亡くなりました。

鈴木さんは前述の役職の通り5年前名古屋市役所を退職すると同時に、その後の人生を将棋の普及にかける決意をされ東海普及連合会の事務局入りしました。各支部役員、将棋指導員あるいは将棋ファンの相談に何時でも優しい丁寧な対応で評判でした。

また、32チームの参加で第70回を数える東海団体リーグ戦のまとめ役として、対局の翌日には各チーム幹事の皆さん宛て速報をメールまたは郵送する仕事もしていました。

さらに、名古屋市役所支部の支部長として中部職域団体戦へのチーム編成も担当していました。鈴木さんが編成した3チームのうちの1チームが鈴木さんの死後2日後の12月4日に

優勝するという結果となりました。4日の前夜式及び5日の告別式には、優勝の賞状及びトロフィーが祭壇に飾られ鈴木さんの生前の尽力にお礼の報告をしました。

鈴木さんの抜けた穴は大きく、残された我々は大変な課題を与えられた感があります。しかし、志半ばで亡くなった彼の気持ちを考えれば、残された私たちは皆さんの協力を得て彼のやり残した課題を必ず達成したいと思っています。

6 中部職域団体対抗将棋大会に22チームが熱戦

前回より2チーム多い22チームによる第94回中部職域対抗将棋大会（主催中日新聞社）が、12月4日（日）、名古屋港湾会館にて開催されました。

A級6チーム、B級8チーム、C級8チームの参加で、それぞれ予選を勝ち抜いた2チームの決勝方式で行われました。

A級は三重県庁が愛知県庁を3-2、B級はデンソーAが豊田自動織機Aを4-1、C級は名古屋市役所Cがアイホンに4-1でそれぞれ勝利しました。

	優勝	準優勝
A級 6チーム	三重県庁 (三重県津市)	愛知県庁 (名古屋市)
B級 8チーム	デンソーA (刈谷市)	豊田自動織機A (刈谷市)
C級 8チーム	名古屋市役所C (名古屋市)	アイホン (名古屋市)

7 第10回有松青少年将棋大会

12月18日（日）緑区役所にて有松支部の主催、鳴海・徳重支部の共催で第10回有松青少年将棋大会が開催されました。ネットで調べたことと、市外、県外からの応募が多く予想人数より倍近い94名も集まり、1クラス増やしてA級・B級・C級・J級としました。

指導対局には、関西からプロ棋士の村田智弘六段に来て頂きました。希望者が多く、名城大学将棋部の久野さんにも手伝って頂きました。子どもたちも満足そうで、大盛況でした。

Aクラスの決勝戦は、関西の研修生と東海の研修生で、とてもレベルの高い戦いでした。

上位入賞者は以下の通りです。

将棋指導員 竹内晃平



	優勝	準優勝	第三位
A級 18名	松下 洸平 (名古屋市・御田中2)	横谷 篤飛 (奈良県・奈良学園中2)	住吉 治志 (多治見市・脇之島小4)
B級 26名	岩田 悠佑 (各務原市・那加第一小4)	山田 晃雅 (春日井市・出川小4)	市川 和樹 (安城市・北部小6)
C級 25名	伊藤 大和 (いなべ市・治田小4)	松田 侑大 (東浦町・卯の里小4)	佐々 湊太 (名古屋市・東志賀小3)
J級 25名	小島 瑞葵 (名古屋市・愛大附幼年長)	小林 龍之介 (名古屋市・香流小1)	岡森 志穂 (伊賀市・府中小1)
奨励賞	安本 興生 (弥生保育園年長)		

8 西尾将棋大会

日本将棋連盟 西尾支部主催による将棋大会が11月20日(日)、西尾市鶴城ふれあいセンターで行われました(後援 中日新聞社、美容室ガラス)。参加者数は前回より11名少ない31名と大幅減!告知ハガキの投函が遅かったのではないかと反省しています。次の大会への課題となりました。

A級は4勝1敗で3人が並びましたが点数の差(運の差?)で松下幸男さんが優勝しました!B級は5戦全勝で犬飼幸春さんが、C級は3戦全勝で三輪直行さんが優勝しました。大人の部では珍しく優勝者が3人とも地元出身でした。小学生の部では、酒井那月くんが全勝同士の対決を制して4大会連続優勝となりました。みなさんおめでとうございます。入賞者は以下の通りです。



日本将棋連盟西尾支部 大阪徹二

	優勝	準優勝	第三位
A級 8名	松下 幸男 (西尾市)	堀井 義高 (岡崎市)	京 文雄 (岡崎市)
B級 6名	犬飼 幸春 (西尾市)	杉浦 彰 (西尾市)	村上 広宣 (碧南市)
C級 4名	三輪 直行 (西尾市)	杉浦 章夫 (西尾市)	本村 光男 (半田市)
小学生 13名	酒井 那月 (岡崎市)	竹内 僚 (岡崎市)	津田 秀太 (安城市)

9 第25回東海アマチュア将棋王位戦・新春指し初め将棋大会

- (1) と き 平成29年1月8日(日) AM9:30~受付 AM10:00対局開始
- (2) と ころ 名古屋港湾会館2階第1会議室
- (3) ク ラ ス 東海アマチュア将棋王位戦
新春指し初め将棋大会 A級(有段者)、B級(1~3級)、
C級(4級以下)、D級(7級以下の小中学生)
- (4) 参 加 費 大人3,000円(2,500円)、大学生2,000円(1,600円)
女性・高校生1,500円(1,200円)、中学生以下1,000円(800円)
()内は日本将棋連盟支部会員(会員証提示にて)
- (5) 表 彰 東海アマチュア将棋王位戦:優勝者に称号・板谷賞(黄楊盛上駒)
新春指し初め将棋大会:各級5戦全勝、4勝1敗、3勝2敗に賞
- (6) 指 導 対 局 竹内貴浩四段 大会参加者対象
- (7) 抽 選 会 一等 卓上本榧1寸盤(3名) 二等 卓上1寸盤(3名)
三等 将棋カレンダー(10名)
- (8) 主 催 中日新聞社 日本将棋連盟東海普及連合会
- (9) 問 合 せ 日本将棋連盟東海普及連合会 電話052-253-9441

10 さなる杯第42回小学生将棋名人戦愛知県大会

- (1) と き 平成29年1月22日(日) AM9:00~受付 AM10:00対局開始

- (2) ところ さなる刈谷本部校
- (3) クラス 愛知県小学生名人戦
小学生交流将棋大会 高学年（4年生以上）低学年（3年生以下）
- (4) 参加費 小学生交流将棋大会 1,000円（さなる在校生はIDカード提示で無料）
- (5) 表彰 第三位までに賞状・賞品 第四位に賞品
- (6) 主催 日本将棋連盟愛知県支部連合会
- (7) 協賛 (株)さなる
- (8) 後援 中日新聞社 愛知県・同教育委員会 名古屋市・同教育委員会
- (9) 協力 日本将棋連盟 日本将棋連盟東海普及連合会
- (10) 問合せ 日本将棋連盟愛知県支部連合会 電話052-253-9441

11 第46回全国支部将棋対抗戦・支部名人戦愛知県大会

- (1) と き 平成29年2月5日(日) AM9:30～受付 AM10:00対局開始
- (2) ところ 名古屋港湾会館第1・第2会議室
- (3) 資格 支部将棋対抗戦 愛知県の支部会員、三段以下
支部将棋名人戦 愛知県の支部会員及び愛知県が居住地の個人会員
一般戦A・B 誰でも参加できます。
- (4) 参加費 支部将棋対抗戦 1チーム6,000円
支部将棋名人戦 2,000円
一般戦A・B 1,000円
- (5) 表彰 支部将棋対抗戦代表1チーム、支部将棋名人戦代表1名は平成29年4月21日(金)～23日(日)に兵庫県尼崎市の都ホテルニューアルカイクで開催される西地区大会に出場。
- (6) 主催 中日新聞社 日本将棋連盟愛知県支部連合会
- (7) 問合せ 日本将棋連盟愛知県支部連合会 電話052-253-9441

12 第24回全国シニア将棋名人戦愛知県大会

- (1) と き 平成29年2月5日(日) AM9:30～受付 AM10:00対局開始
- (2) ところ 名古屋港湾会館第2会議室
- (3) 資格 平成29年1月1日現在60歳以上であること
日本将棋連盟支部会員または個人会員であること
棋士・元棋士でないこと
所属支部の所在地が愛知県内にあること
前年度愛知県代表でないこと
- (4) 参加費 2,000円
- (5) 表彰 代表1名は平成29年4月21日(金)～23日(日)に兵庫県尼崎市の都ホテルニューアルカイクで開催される西地区大会に出場。
- (6) 主催 中日新聞社 日本将棋連盟愛知県支部連合会
- (7) 問合せ 日本将棋連盟愛知県支部連合会 電話052-253-9441

13 第5回星空将棋合宿in信州・清水高原

- (1) と き 平成29年3月26日(日)～3月28日(火) 2泊3日・7食付
- (2) ところ スカイランドきよみず
長野県東筑摩郡山形村清水高原7598-97
- (3) 参加棋士 佐藤康光九段 中山則男六段 澤田真吾六段 室谷由紀女流二段

- 中澤沙耶女流初段
- (4) 定 員 Sクラス (奨励会を目指す方) 15名
一般クラス (小中学生) 50名
- (5) 参 加 費 Sクラス 55,000円
一般クラス 35,000円
- (6) 主 催 豊栄交通
- (7) 共 催 トヨタエンタプライズ
日本将棋連盟東海普及連合会・長野県支部連合会
- (8) 後 援 中日新聞社
- (9) 問 合 せ 日本将棋連盟東海普及連合会 電話052-253-9441

14 今後の予定

- 1月8日(日) 第25回東海アマチュア将棋王位戦・新春指し初め将棋大会
1月22日(日) さなる杯第42回小学生将棋名人戦愛知県大会
2月5日(日) 日本将棋連盟愛知県支部連合会総会
2月5日(日) 第46回支部対抗戦・支部名人戦及び第24回シニア名人戦愛知県大会
2月12日(日) 日本将棋連盟将棋指導者講習会
2月25日(土) 第75期A級順位戦最終局解説会
3月19日(日) 名古屋市児童館講師団会議
3月26日(日)～28日(火) 第5回星空将棋合宿
4月2日(日) 将棋指導員資格審査

会報の配信をご希望の方は東海普及連合会事務所までご連絡ください。

東海普及連合会ホームページ (http://www.geocities.jp/shogi_tokai/index.html) からダウンロードしていただくこともできます。

東海普及連合会、愛知県支部連合会へのご意見がございましたら遠慮なくご連絡ください。

東海普及連合会事務所

〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目12番21号第2栄スカイタウン4A

電話 052-253-9441 FAX 052-253-9442 E-mail shogi_tokai@ybb.ne.jp